

4月27日（月）2校時に火災を想定した避難訓練を実施しました。今回は「授業中に1階家庭科室より出火したため、出火場所を避けて校庭に避難集結する」という設定で行いました。児童生徒は「おはしも（おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない）」の約束を守り、冷静かつ迅速に避難することができました。

訓練では、全校が整然と行動し、1分57秒で全員が校庭に集合することができました。安全を第一に、教職員が役割を分担し、児童生徒を確実に誘導しました。

近年、日本国内では山林火災の発生が相次ぎ、地域住民の避難や消火活動に大きな影響を及ぼしています。こうしたニュースは、火災が決して遠い出来事ではなく、日常の中で突然起こり得ることを私たちに教えてくれます。だからこそ、学校での避難訓練は「もしもの時」に備える大切な学びの機会です。

本校では今後も年間を通して避難訓練を繰り返し行い、児童生徒一人ひとりが自分の身を守り、仲間と協力して安全に行動できる力を育てていきます。

